

# 見える化&CHECK でルールのさらなる普及を!!

平成 28 年度まで西牟婁振興局「医療と介護の連携推進会議」にて実施されていた退院調整ルールの運営にかかる会議が今年度より当会で引き続き実施することとなりました。

先日(1月25日)、平成 29 年度退院調整ルール部会が下記のとおり開催し、11月に実施したケアマネジャー・病院へのアンケートから圏域の退院調整の状況および課題からルールを見える化したシートとCHECK BOXによる連携手順のチェックツールを用いて、各職域(病院・事業所)において研修・掲示等を促進することに決定しました。

## もれ率は微増、しかし連携の質の向上や拡がり認める

ケアマネジャーへのアンケート調査結果から、退院調整もれ率は、微増していた【図1】。ただし、引き継ぎもれによる病状悪化、介護度低下を招いた事例報告はなかった。

昨年度以降の改善点として、医師から治療方針の説明があった、医師がカンファレンスに出席したという報告や地域連携室からかかりつけ医への連絡を行ってくれた等「医療ニーズの引継ぎ」が強化されたという報告が多くみられた。また、「病棟の看護師から在宅生活を視野に入れての助言が増えた」「双方から連絡を取り合うことにより急に退院が決まった時にも調整ができた」等の報告もあり、連携の拡がりや質の高まりについて確認した。

一方で、連携の課題として、病院から担当ケアマネジャーが確認できないという報告や、転院や転棟時ケアマネジャーへの連絡もれがあるという報告も依然として多く見られるため、もれ率の更なる低減を目指しルールの周知・啓発に対策が必要なることを確認した。

ルールの周知・啓発への取り組みとして、ルールを見える化したシート【図2】とCHECK BOXによる連携手順のチェックツール【図3】を用いて、各職域(病院・事業所)において研修・掲示等を促進することに決定した。(各ツールについては、ホームページ掲載予定)

また、来年度の活動方針については EHR 黒潮ネットに入院時情報提供や退院時に必要な情報を掲載するという計画もあることからその動向を見て開催を検討することで合意した。

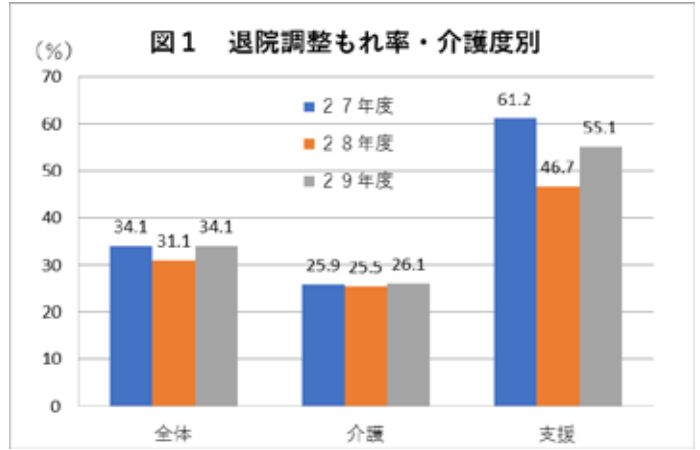


図2：退院調整を見える化したシート



図3：連携手順 CHECK BOX

介護を依頼している方の 退院調整にかかる CHECK BOX	
病院スタッフ欄	ケアマネジャー欄
<p>1. 入院時情報</p> <p>① 退院調整シートに記入している名前や住所が、介護職調整室の担当ケアマネジャーと一致する。</p> <p>② 入院時情報(年齢、性別、病歴)が、退院調整室の担当ケアマネジャーと一致する。</p> <p>③ 退院調整室に入院時情報(年齢、性別、病歴)が記入されている。</p> <p>④ 退院調整室に入院時情報(年齢、性別、病歴)が記入されている。</p> <p>⑤ 退院調整室に入院時情報(年齢、性別、病歴)が記入されている。</p> <p>⑥ 退院調整室に入院時情報(年齢、性別、病歴)が記入されている。</p> <p>⑦ 退院調整室に入院時情報(年齢、性別、病歴)が記入されている。</p> <p>⑧ 退院調整室に入院時情報(年齢、性別、病歴)が記入されている。</p> <p>⑨ 退院調整室に入院時情報(年齢、性別、病歴)が記入されている。</p> <p>⑩ 退院調整室に入院時情報(年齢、性別、病歴)が記入されている。</p>	<p>1. 入院時情報</p> <p>① 退院調整室に記入している名前や住所が、退院調整室の担当ケアマネジャーと一致する。</p> <p>② 退院調整室に記入している名前や住所が、退院調整室の担当ケアマネジャーと一致する。</p> <p>③ 退院調整室に記入している名前や住所が、退院調整室の担当ケアマネジャーと一致する。</p> <p>④ 退院調整室に記入している名前や住所が、退院調整室の担当ケアマネジャーと一致する。</p> <p>⑤ 退院調整室に記入している名前や住所が、退院調整室の担当ケアマネジャーと一致する。</p> <p>⑥ 退院調整室に記入している名前や住所が、退院調整室の担当ケアマネジャーと一致する。</p> <p>⑦ 退院調整室に記入している名前や住所が、退院調整室の担当ケアマネジャーと一致する。</p> <p>⑧ 退院調整室に記入している名前や住所が、退院調整室の担当ケアマネジャーと一致する。</p> <p>⑨ 退院調整室に記入している名前や住所が、退院調整室の担当ケアマネジャーと一致する。</p> <p>⑩ 退院調整室に記入している名前や住所が、退院調整室の担当ケアマネジャーと一致する。</p>